



TCA

—NEWS—

Vol.49 夏号

発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2-3
CiCビル3F 富山市民国際交流センター内
TEL (076)444-0642 FAX (076)444-0643
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代



6月9日 エルフ富山

ことばは…いらない…

料理交流会

～「おいしい！」は
顔が、心が
ほころぶ～

「食は文化」

ボランティア委員会の会員たちの指導で、日本の家庭料理を作りました。

ことばのできない人も見よう見まねで、
「タノシイ!」、「オモシロイ!」
巻き寿司の具が、なかなか真ん中にならない…
天ぷらがカリッとうまく揚がらない…

そのうち「アジミ」といってつまみ喰いをする人もいて、にぎやかな交流会となりました。

ボランティアで育てよう 富山市民国際交流協会

新富山市が誕生し活動範囲が拡大！ 連携を図りながら一層の発展を！



- ・平成17年度富山市民国際交流協会総会は、会員75人が出席し開催されました。
- ・会長あいさつ、来賓からの祝辞の後、総会次第により議事が進められ、平成16年度事業報告・決算報告、平成17年度事業計画・収支予算ほか各議案について承認・議決されました。
- ・羽賀友信氏の記念講演では、新規事業「災害ボランティア活動支援の養成講座」開講の参考となる多くのことを学ぶことが出来ました。また、交流レセプションは、会員相互の親睦を深める機会になりました。

あいさつ

富山市民国際交流協会 会長 八嶋 健三

当協会は、市民が主人公の国際交流の推進を目的とし、平成5年1月設立以来、ボランティア精神にのっとり、多方面の活動を行って来たところであります。

会員の皆様方には、協会の事業のみならず外国人の方々との市民レベルの草の根交流をめざして熱心に活動され、協会の設立趣旨に十分応えていただいておりますことを心から感謝申し上げる次第です。

さて、近年、富山市におきましても在住外国人、留学生が増加の一途をたどっており、昨年12月末現在で4,881人の方々に住んでおられます。

また、ご案内のとおり、今年4月から7市町村合併による新富山市が発足し、当協会の活動範囲も大幅に拡大するものと思われます。

これからも、お互いに連携を保ちながら協会発展に向け、努力してまいりたいと考えておりますので、会員の皆様の一層の参加とご協力、関係者の方々の温かいご支援をお願い申し上げます。

祝 辞

富山市長 森 雅志

日ごろ、皆様方には、市民レベルでの国際交流の推進はもとより、市政の発展に格別のご支援、ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

近年、わが国では、少子高齢化や高度情報化、国際化などの進展にともない、私たちを取り巻く環境は大きく変化してきており、また、市民一人ひとりの価値観も多様化してきております。

貴協会におかれましては、多彩な事業を積極的に展開されるとともに、草の根交流活動に主体的に取り組んでおられますことは、国際交流施策の推進を図る上で、大変意義深いことと考えております。

さて、今年4月に富山地域7市町村が合併し、新しい「富山市」が誕生したところであります。今後とも「外国人の方々にも住みやすいまちづくり」を目標に、貴協会と密接に連携を図りながら、各種施策を進めてまいりたいと考えておりますので、皆様方の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記念講演

「出会い、交流、そして国際協力へ」

～新潟県中越大地震の体験を通して～

長岡市国際交流センター「地球広場」
センター長 羽賀 友信 氏



地方分権と景気低迷が続く中、国際交流団体の存在意義が問われ始めていますが、今回中越大地震を経験し、むしろその存在意義を再確認しました。人口20万弱の長岡市には震

災時に2,118人の外国籍住民が登録されていました。そのうち762人の中国語系、511人のポルトガル語系(ブラジル)の2つが主たるグループでしたが、どちらも地震の経験がほとんど無く、何が起き、どうしたらよいのかという事を理解することが困難でした。長岡市国際交流センターでは、早急に支援体制を組み、「言語系ボランティアセンター」を立ち上げましたが、問題は人材の不足でした。通訳、翻訳レベルの能力が要求されましたが、地元では対応できません。

地震の後、すぐに多文化共生センター(阪神大震災で被災した外国人への情報活動をきっかけに設立)理事 田村太郎氏らが現地に駆けつけて協力して下さいました。おかげで、「国際交流・協力・全国実践者会議」を通じた「全国ネット」の協力で多言語表示シート、通訳、音読、翻訳等のバックアップをしてもらうことにより、外国人支援体制が立ち上がりました。

今日、ますます地方でも国際化が進む中、国と国の関係よりも、人と人の関係が重視される「多文化共生時代」の認識が重要であり、「混在する町づくり」を進めることが、災害に強い町づくりになると思います。

講師は、被災地で外国人支援者を支え、スタッフや県内外のボランティアをまとめて外国人の保護にあたられました。そして、多くの経験を通して「日ごろからの交流や情報交換などネットワークが大切である」と、外国人の支援体制などについて話されました。

プロフィール

JICA専門家、自然塾、にいがたNGOネットワーク理事長、JICA国際協力サポーター、長岡市教育委員、長岡市国際交流センター「地球広場」センター長、その他多文化共生時代の解説者として講演、執筆、メディア出演など活躍中。

総 会 議 事

監 査 報 告 書

◆議案第 1 号 平成16年度事業報告

- ・理事会・総会・正副委員長会議・「新富山市」国際交流団体担当者会議
 - ・委員会合同事業
富山まつり「越中おわら踊り」参加
国際交流フェスティバル2004
新春国際交流のつどい2005
ホームページによる情報提供
国際交流関係会議等への参加
 - ・各委員会の事業
- などを報告

◆議案第 2 号 平成16年度決算報告

収 入 の 部 (単位：円)

科 目	予 算 額 A	収 入 済 額 B	増 △ 減 B-A	説 明
1. 会 費 収 入	2,630,000	2,530,370	△ 99,630	
1. 個 人 会 費	1,620,000	1,561,000	△ 59,000	個人519人
2. 家 族 会 費	160,000	185,000	25,000	家族37組
3. 団体・法人会費	850,000	784,370	△ 65,630	52団体80口
2. 事 業 収 入	1,320,000	1,692,000	372,000	
1. 総会懇親会費	280,000	245,000	△ 35,000	3,500円×70人
2. 新春国際交流の 集い参加費	115,000	90,000	△ 25,000	1,500円×60人（日本人）
3. ALT歓迎会参加費	40,000	27,000	△ 13,000	1,000円×27人（日本人）
4. 日本語講座受講料	156,000	126,000	△ 30,000	6,000円×21人
5. 中国語講座受講料	120,000	174,000	54,000	6,000円×29人
6. ハングル講座受講料	144,000	264,000	120,000	6,000円×44人
7. ポルトガル語講座受講料	36,000	78,000	42,000	6,000円×13人
8. 日本語学習支援事業ボラ ンティア交通費負担金	234,000	528,000	294,000	300円×1760人
9. 翻 訳 手 数 料	195,000	160,000	△ 35,000	
3. 補 助 金 収 入	10,362,000	10,307,807	△ 54,193	
1. 事 業 補 助 金	3,000,000	2,850,000	△150,000	
2. 外国人相談業務補助金	7,362,000	7,457,807	95,807	
4. 寄 付 金	10,000	3,000	△ 7,000	
1. 寄 付 金	10,000	3,000	△ 7,000	
5. 雑 収 入	190,000	61,662	△128,338	
1. 雑 収 入	190,000	61,662	△128,338	
合 計	14,512,000	14,594,839	82,839	

支 出 の 部 (単位：円)

科 目	予 算 額 A	支 出 済 額 B	増 △ 減 B-A	説 明
1. 管 理 費	9,685,000	9,875,838	190,838	
1. 会 議 費	545,000	527,785	△ 17,215	総会、理事会等
2. 人 件 費	7,362,000	7,457,807	95,807	外国人相談員（常勤2人、非常勤2人）
3. 管 理 諸 費	1,778,000	1,890,246	112,246	消耗品、電話料、印刷費、新聞代、備品等
2. 事 業 費	4,797,000	4,719,001	△ 77,999	
1. 合 同 事 業 費	1,220,000	1,174,774	△ 45,226	国際交流フェスティバル、新春のつどい
2. 総務企画事業費	160,000	161,445	1,445	国内研修、カレッジ等
3. 姉妹友好都市交流事業費	480,000	317,225	△162,775	秦皇島市友好親善奨学金、訪問団歓迎会
4. 文化交流事業費	200,000	182,811	△ 17,189	日本伝統文化紹介、交流会等
5. ボランティア事業費	91,000	86,969	△ 4,031	ボランティア養成講座、交流会等
6. 広 報 事 業 費	836,000	1,047,710	211,710	広報誌印刷、郵送料、パンフレット等
7. 国際教養事業費	400,000	356,600	△ 43,400	語学教養講座、ディスカバー富山等
8. 語学講座事業費	1,410,000	1,391,467	△ 18,533	講師謝礼、日本語学習支援
3. 予 備 費	30,000	0	△ 30,000	
1. 予 備 費	30,000	0	△ 30,000	
合 計	14,512,000	14,594,839	82,839	

平成16年度富山市民国際交流協会の決算について監査したところ、正確に処理されており、決算諸表、会計帳簿等も適正であると認めました。

平成17年4月7日

監 事 小 川 しげみ

監 事 中 川 泰 三



◆議案第 3 号 平成17年度事業計画

理事会・総会・記念講演会および懇親会
委員会合同事業

- ・国際交流フェスティバル2005
と き 10月22日(土)～23日(日)
ところ CiCビル及び前庭(駅前広場)

- ・新春国際交流のつどい2006
- ・国際交流関係会議等への参加
- ・富山まつり「おわら踊り」参加
- ・ホームページ情報提供
- ・災害ボランティア活動支援のための養成講座開講
- ・外国籍児童・生徒への学習支援

総務企画委員会

- ・国内研修
- ・国際交流T C A カレ ッ ジ の 開 催
- ・関係国際交流団体の総会等への参加

姉妹友好都市委員会

- ・海外研修
- ・姉妹友好都市等の訪問団員との交流会
- ・姉妹友好都市からの富山在住者との座談会

文化交流委員会

- ・日本伝統文化等の紹介
- ・交流会(日帰り交流会・スポーツ交流会)
- ・もっと知ろう世界の街(世界の国と文化を訪ねる)

ボランティア委員会

- ・ボランティア養成講座
- ・外国人交流会
- ・ホームステイ・ホームビジット
- ・海外ボランティア活動への支援事業

広報委員会

- ・当協会会報「T C A - N E W S」の発行
(年4回－4・7・10・1月号 1,500部/1回)

国際教養委員会

- ・一般研修講座(11講座)
- ・ディスカバー富山(バスツアー)
- ・ALT(外国語指導助手) 交流会
- ・外国人訪問団、行事等における通訳・ガイド協力

語学講座事業

- ・日本語講座(外国人対象)、中国語講座、ハン
グル講座、ポルトガル語講座
- ・ボランティアによる日本語学習支援事業

その他

- ・外国人の相談業務
- ・翻訳・通訳
- ・交流事業への支援(紹介、派遣、資料提供等)
- ・図書貸出業務
- ・合併による各地域への普及活動

◆議案第 4 号 平成17年度収支予算

収 入				(単位：千円)
科 目	予 算 A	前年度予算額 B	増△減 A－B	説 明
1. 会 費 収 入	2,570	2,630	△ 60	
1. 個 人 会 費	1,590	1,620	△ 30	3,000円×530人
2. 家 族 会 費	180	160	20	5,000円×36組
3. 法人・団体会費	800	850	△ 50	10,000円×80口 60団体・企業
2. 事 業 収 入	1,580	1,320	260	
1. 総会懇親会参加費	245	280	△ 35	3,500円×70人
2. 新春国際交流の 集 い 参 加 費	120	115	5	1,500円×80人（日本人）
3. A L T 交流会参加費	40	40	0	1,500円×20人（日本人） 500円×20人（A L T）
4. 日本語講座受講料	132	156	△ 24	6,000円×22人
5. 中国語講座受講料	156	120	36	6,000円×26人
6. ハングル講座受講料	180	144	36	6,000円×30人
7. ポルトガル語講座受講料	78	36	42	6,000円×13人
8. 日本語学習支援事業 ボランティア交通費負担金	420	234	186	300円×1400人
9. 日本語夏季集中講座 教材費負担金	54	0	54	
10. 翻 訳 手 数 料	155	195	△ 40	
3. 補助金収入	10,344	10,362	△ 18	
1. 事 業 補 助 金	2,770	3,000	△ 230	富山市補助金
2. 外国人相談業務補助金	7,574	7,362	212	富山市補助金（職員 4 人分）
4. 寄 付 金	10	10	0	
1. 寄 付 金	10	10	0	
5. 雑 収 入	210	190	20	コピー使用料、預金利子
1. 雑 収 入	210	190	20	
収 入 合 計	14,714	14,512	202	

支 出				(単位：千円)
科 目	予 算 A	前年度予算額 B	増△減 A－B	説 明
1. 管 理 費	9,792	9,685	107	
①会 議 費	495	545	△ 50	◎総会費 480,000円 ・総会資料 100,000円 ・会場借上料 30,000円 ・講師謝礼等 50,000円 ・懇親会費 300,000円 ◎理事会諸費 15,000円
②人 件 費	7,574	7,362	212	◎外国人相談員（常勤 2 名、非常勤 2 名） ・給料・社会保険料等 7,574,000円
②管 理 諸 費	1,723	1,778	△ 55	消耗品費（コピー代等） 337,000円 印刷製本費 120,000円 食 糧 費 40,000円 郵便料等 100,000円 電話料等 186,000円 旅 費 70,000円 新聞・図書購入費 180,000円 負担金・会費 50,000円 インターネット維持管理費 100,000円 駐車料補助 540,000円
1. 事 業 費	4,892	4,797	95	
①合 同 事 業 費	1,335	1,220	115	国際交流フェスティバル2005開催負担金 1,000,000円 新春国際交流の集い開催費 180,000円 とやま祭り参加諸費 55,000円 災害語学ボランティア養成講座 100,000円
②総務企画事業費	160	160	0	国内研修助成費 6,000円×20人＝ 120,000円 国際交流TCAカレッジ開催費（講師謝礼等） 40,000円
③姉妹友好都市交流事業費	380	480	△100	海外友好訪問助成事業 300,000円 姉妹友好都市訪問団歓迎会費 80,000円
④文化交流事業費	155	200	△ 45	◎日本伝統文化紹介 65,000円 ・民謡おわら踊り 10,000円 ・華 道（材料費等） 20,000円 ・工芸教室 15,000円 ・茶 道 10,000円 ・音楽鑑賞 10,000円 ◎交流会 70,000円 ・日帰り交流会 50,000円 ・スポーツ交流会 20,000円 ◎もっと知ろう世界の街 20,000円 （2 回、講師謝礼、資料等）
⑤ボランティア事業費	90	91	△ 1	ボランティア養成講座 10,000円× 2 回＝20,000円 講師謝礼 63,000円 外国人交流会開催諸費 7,000円 ボランティア支援事業諸費

14714・1122

科 目	予 算 A	前年度予算額 B	増△減 A－B	説 明
⑥広 報 事 業 費	816	836	△ 20	広報紙（TCA－NEWS）発行費 134,000円× 4 回＝536,000円 印刷費 280,000円 発行諸費（郵送料・取材諸費）
⑦国際教養事業費	390	400	△ 10	講師謝礼等（交通費） ・ロシア語講座 3,000円×10回＝30,000円 ・中国語講座 3,000円×10回× 3 人＝90,000円 4,000円× 1 回× 4 人＝16,000円 ・英語講座 1,000円×12回× 2 人＝24,000円 ・E S D 3,000円×10回＝30,000円 ・日本文化英語交流クラス 3,000円×10回＝30,000円 ・多言語語文化交流クラス 3,000円× 8 回＝24,000円 ・日本語ボランティア入門 36,000円 ・ディスカバー富山 70,000円 ・A L T 交流会 開催費 40,000円
⑧語学講座事業費	1,566	1,410	156	講師謝礼等 ・日本語講座 6,000円×30回× 2 クラス＝360,000円 ・中国語講座 6,000円×30回＝180,000円 ・ハングル講座 6,000円×30回＝180,000円 ・ポルトガル語講座 6,000円×30回＝180,000円 ・日本語学習支援事業 ボランティア交通費 700円×40回×15人＝420,000円 ・ボランティア養成費 60,000円 ・日本語夏季集中講座諸経費 74,000円 ・外国人児童・生徒支援事業 ボランティア交通費 700円×40回× 4 人＝112,000円
3. 予 備 費	30	30	0	
1. 予 備 費	30	30	0	
支 出 合 計	14,714	14,512	202	

◆議案第 5 号 理事の選任について

協会規約第 8 条により次の者を理事に選任

牧田 好一氏（富山市中学校校長会会長）

村田 寛氏（富山商工会議所青年部会長）

富山市民国際交流協会役員等名簿

役職名	氏 名	所属団体及び役員名	備 考
名誉顧問	正橋 正一	元富山市長	
〃	久保田照雄	前富山市民国際交流協会会長	
会 長	八嶋 健三	富山商工会議所会頭	
副会長	小川 弘	富山大学監事	
〃	山崎佐和子	富山商工会議所女性会会長	
理 事	大崎 和紀	富士メリヤス(株)取締役社長	
〃	辻 雅寛	富山市翼の会会長	
〃	新田 八朗	日本海ガス(株)取締役社長	
〃	千代鴻一郎	北陸電力(株)取締役富山支店長	
〃	塩澤 和章	富山大学副学長	
〃	牧田 好一	富山市中学校校長会会長	新規選任
〃	村田 寛	富山商工会議所青年部会長	新規選任
〃	野入 潤	富山市美術作家連合会事務局長	
〃	大泉美登子	富山市女性団体等連絡協議会会長	
〃	白山 肇	富山県青年海外協力隊を育てる会会長	
〃	山形 路子	ウイメンズ ウイング トヤマ会長	
〃	北東 俊夫	総務企画委員長	
〃	梅澤 信義	姉妹友好都市委員長	
〃	町村 紀弘	文化交流委員長	
〃	嚮田 民子	ボランティア委員長	
〃	岡田 昌代	広報委員長	
〃	神保 正	国際教養委員長	
監事	小川しげみ	ガールスカウト富山地区協議会会長	
〃	中川 泰三	富山ガラス造形研究所所長	
参与	松岡 一	元事務局長	
〃	小川 光夫	元事務局長	
〃	竹丸 忠	前事務局長	

以上、平成17年度富山市民国際交流協会総会等要旨。
なお、総会の資料は協会事務局にあります。

災害ボランティア(語学)養成講座開講

6月11日 当センター

災害ボランティア活動支援のための(語学)養成講座は、場家事務局長の挨拶の後、講師の方から当日(第1回)の予定と12月までの全10回にわたる講座の内容の説明などがありました。

第1回災害ボランティア(語学-英語)養成講座

オリエンテーション

回	開講日	内 容
1	6月11日	オリエンテーションと「記念講演」 テーマ「協力？」 ～震災を経験して、また、 通訳として感じたこと～
2	6月25日	富山の災害の特徴及び事前の心構えに についての説明の仕方
3	7月9日	
4	7月23日	災害が起きた瞬間と直後に考えられる 状況を想定し、外国人に対する情報の 与え方やサポートの仕方について (医療通訳経験者による講演の予定もあります)
5	8月27日	
6	9月10日	
7	10月8日	災害からの回復期に想定される、外国 人からの相談に対応する
8	11月12日	
9	11月26日	
10	12月10日	まとめと修了式

以上の講座内容の説明の後に、各講師 神保 正氏(国際教養委員長)、原 和子氏(国際教養副委員長)、穴戸公子氏(英語講師)、クリスティーナ布谷氏(英語講師)が英語で自己紹介を行い、つづいて受講生たち(29人)も英語で自己紹介をしました。

講師たちは、「受講参加者は、教員や海外ボランティア経験者、看護師等医療従事者など多士済々で、どの方もモチベーションが高く、次回からの講座運営に対する責任をひしひしと感じながらも、また大変楽しみでもあります」と意欲的に話しました。

記念講演

「協力？」～震災を経験して、また、 通訳として感じたこと～

講師 須田 麗子氏(ブルネイ ダルサラーム出身)
財新新潟県国際交流協会通訳(中国語・英語・マレー語ほか)



日本に来て25年目になる。先輩として後から来る外国人のために「いろいろなドアをたたいて『開けてください。中に入れてください』と、行政に対して話しましょう」というのが私の活動である。

被災地での活動は、まず、手元にあった大きなカレンダーの裏に避難所の場所を書いてマークを付け、国籍別に色分けをして、それを元に避難所をまわってデータを作った。次々と伝えなければならない情報がたくさん有り、無我夢中で翻訳をした。それを避難所を回る人に渡して貼ってもらって情報を伝えるようにした。時間が経つにつれそこから本当の問題が出て来た。「国に帰りたい。こわい。パスポートを無くした。今、離婚申請中だ。これからどうなるのか？」など通訳を超える問題になってくる。時には生命に関わる部分になることもあるので、いろいろ知識がないと外国人がたらいまわしにされてしまうことがおきる。

災害時のためばかりでなく普段から対応できる人材を育成し、常に入管法や労働法などを勉強することが大切である。

通訳で忘れてはいけないのが、綱引きのその真ん中にいるということだ。真ん中にいる人は、両方の綱引きの人たちの力の倍以上のエネルギーが必要だ。

講師の体験や経験と活動を通した講演は、「真の国際化」「多文化共生社会」へ向けた熱いメッセージのように聞こえてきました。

当協会主催 語学講座

各教室ともに、わきあいあいとした雰囲気の中で授業が進んでいます。



ポルトガル語 入門 (月)

講師
伊東 久子氏
受講生16人



にほんご (火)

講師(入門)
西田 洋子氏
講師(初級)
辻 博美氏
定員各10人



中国語 中級 (金)

講師
應 廣建氏
受講生28人



ハングル 入門 (金)

講師
姜 慶淑氏
受講生39人

多国言語文化交流クラス

上海（中国）&上海語

4月2日

講師 湯 麗敏氏(富山国際大学国際教養学部助教授)

上海は、人口約1,600万人、面積6,185キロヘクタール、緯度は鹿児島県のあたりに位置して気候は富山によく似ています。上海略称を“滬”または“申”といい、1927年に市として設立されて中国最大の大都市で商工業の最先端をいく街です。改革開放路線の浸透でいたるところに海外資本の会社や店が立ち並び、毎日のように高層建築物が増え、中国の近代化をリードしています。文化や言葉をはじめとして首都北京とは全く異なる面があります。上海語と北京語の違いは、スペイン語とポルトガル語の違いよりも大きい。昔、租界地だった街は、今もいろいろな国の建築物が残っているので世界の建築物の博覧会とも言われています。街を歩けば、毎日、携帯電話片手に行く人、地方から出てきて野菜を売り歩く人々などで溢れています。この人々の群れこそが上海の魅力なのです。



また、上海料理は、日本人の口にも合うようで、上海蟹、小籠包、ワンタンなどおいしいものがいっぱいあります。一度行ったらまた行きたくなる街です。…と流暢なやさしい日本語で話されました。

今回は、かつて当協会の外国人相談員として、みんなに親しまれた湯さんが講師とあって、大勢の参加者でにぎわい楽しいひとときとなりました。

ウズベキスタン&ウズベク語

6月4日

講師 シャイデュリナ・ナイナ・アリファトッナ氏
(富山大学教育学研究科研究生)

いわゆる鉄のカーテンで仕切られていたためか、旧ソ連から1991年に独立したウズベキスタンのことを知る人は少ないようだが、昨今のマスコミが伝えているテロリストによる政情不安のニュースのためか、この国に興味を示す人達が28人も参加して、なかなかの盛況でした。



ナイナさんは、このスピーチのために相当の時間をかけて準備されたようで、自国ウズベキスタンの国勢、地理、気候、自然、文化、産業、経済、祝祭日、芸術、食べ物、等について、コンピューターから沢山の美しい映像を次々と繰り出しながらか、とても分かりやすく説明して下さいました。教わった主なことはサマルカンド、タシケントなどウズベクは、

- ① 古来シルクロードの要衝にあったので、様々な人種が入り交った多民族国家である。そのために色々な文化や伝統が混在していること。
 - ② 砂漠地帯ではあるけれど、大規模な灌漑設備によってとても緑豊かな国となっていること。
 - ③ 天然資源=石油、天然ガス、石炭のエネルギー資源の他に、金、銀、ウラニウム、銅、亜鉛、鉛など、未だ手付かずで豊富な地下資源の埋蔵が確認されていること。
 - ④ 国の施策として教育が大変重要視されていること。
- など、沢山のことを知りました。これ迄はNHK「シルクロード」の番組から、わずかで断片的知識しかなかった私には、色々なことが一杯学べてとても有意義でした。

会員 島 賢司

英語スピーチと討論の会(ESD)

4月例会 4月12日 18:30~20:00

テーマ 「Northern Ireland and "The Troubles"」
スピーカー Robert Heaney氏 (大沢野工業高等学校ALT)

北アイルランドの宗教は、40%がカソリック、19%が長老派プロテスタント、10%がアイルランド教会である。歴史的には、イギリスのプランテーションによる支配と独立の経緯があり、それに宗教の色彩が加わった永い抗争があった。

1922年にアルスター地方を中心とした北部が分離し、南部は1937年に共和国となった。

北アイルランドは、世界的にはIRAのテロばかりが有名になってしまっている。

住民にとっての日常は、極端に走る少数を除けば両者が平和的に共存しており、テロの危険がいつもあるわけではないので、常に危険を感じながら生活しているわけではない。近年は、安定してきており外国企業の進出などもある。

参加者たちは、最近のニュースから知る以上の北アイルランドについて興味深く聞き入っていました。

5月例会 5月10日 18:30~20:00

テーマ 「General Informations on Mexico」
スピーカー Laura Luz Garcia Garcia氏 (富山大学教育学研究科研究生)

日本人にとって「メキシコ」から連想するものは何でしょう？

まず、高地にある都市…古くはマヤ文明が栄えました。また現在では首都メキシコシティなど。

1968年「メキシコ五輪」では高地で低重力のため、男子走り幅跳びで驚異的な世界記録が出たことを記憶している人も多いでしょう。

次に、人口爆発…少子高齢化の日本にとっては羨ましいほどの若者の増加。しかし、同時にその若年層の増大に対応する問題を抱えています。

さらに、名物…トルティーヤやタコス、そしてテキーラとコロナビール。

講師は、ラテンのイメージと裏腹に含羞みながら話されました。



6月例会 6月14日 18:30~20:00

テーマ 「An Introduction to Toyama-ken
Sister State of Oregon」

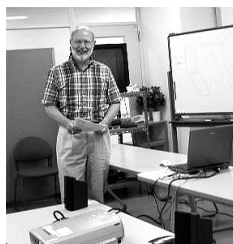
スピーカー Stan Mayfield氏 (オレゴン州(USA)出身 現在は日本滞在中)

米国で10番目に広いオレゴン州は太平洋に面した地域と2つの山脈に囲まれたウィラメット渓谷、東部の砂漠が広がる平原、北部のオレゴンアルプスとも呼ばれる高地に大きく分けられ、それぞれに素晴らしい自然が広がっている。

ウィラメット渓谷には、全人口の70%が集まり、首都セーラム、最大の都市ポートランドがあり、大学や音楽堂、西部開拓時の様子が窺える博物館や美術館など文化の中心となっている。また、ワイナリーやナイキ本社、ハイテク関連の企業なども集中している。

南部の方には、巨大な鍾乳洞、また、北部の高地には、氷河や湖が見られ、コロンビア川が切り取る峡谷はグラウンドキャニオンより深い。

魅力いっぱいの「オレゴン」へ、参加者たちは思いを馳せていました。



これらの講話・座談・討論などすべて英語で行なわれました。

国際教養委員会

お花見交流会



4月8日
まつかわ べ
松川辺り

晴。開花したばかりの桜の花の下で富山在住の外国人と会員ら30人は、輪になって花見弁当を食べながら交流しました。

ゲームや罰ゲームを楽しんで日本の春を感じました。

料理交流会



日本の
家庭料理
をつく
を作ろう

6月9日
とやま
エルフ富山

メニュー：巻き寿司 天ぷら ふき寄せ おすまし 抹茶ゼリー

ボランティア委員会の会員たちの指導を受けて、まず「巻き寿司」に挑戦しました。一人ひとりが、だし巻き玉子の作り方から、のりで巻くまでをガンバリました。「オウまい、具がまんなかになかった！」などと、それなりのできあがり満足そうでした。

外国人のための日常生活勉強会



5月20日
とう
当センター

国際結婚をして富山で生活をしている外国人とその配偶者の方たちが参加しました。

日ごろからの日本の習慣や家族とのかかわり方について質問を受け、ボランティア委員会の会員がそれに答えるという方法ですすめられました。

日本人の男性から「外国人妻との間には、言葉の不自由もあるがお互いに勉強している」など日常の生活について話しました。参加者たちは、毎日の生活の中でお互いに努力していることを話し合ったりもしました。

ボランティア委員会

日帰り交流会



5月22日
ふるどう もり てんもんだい
古洞の森と天文台

留学生や富山在住の外国人30人と会員15人が参加して、新緑あふれる「古洞の森」へ行きました。

バーベキューを腹一杯食べながら話しをして楽しく交流しました。

その後、緑の木々を愛で、湖水をながめながらウォーキングをしました。途中、天文台を見学して学芸員の方から星の話を英語で聞きました。

フラワーアレンジメント



6月19日
とう
当センター

文化交流委員会の会員たちと夏向けの観葉植物のアレンジを楽しみました。ガラスの器に、オアシス代わりにハイポリマーゼリーを使ってトロピカルな気分になりました。

「根がついているので、毎日少しずつ大きくなるのが楽しみです」と参加者たちは持ち帰りました。

文化交流委員会

お知らせ

お申し込み・お問合せは当協会まで
TEL 076(444)0642 FAX 076(444)0643

平成17年度行事予定

行 事	日 時	と ころ	担当委員会	会 費	対 象
多国言語文化交流クラス モルドバ&モルドバ語(ルーマニア語) アレキサンドル・ガイナ氏	7月2日(土) 13:30~15:00	当センター	国際教養	200円	会 員
国内研修(名古屋国際センター研修と愛知万博)	7月3日(日) ~ 4日(月)	愛知県	総務企画	22,000円(予定)	会 員
英語スピーチと討論の会7月例会	7月12日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料	会員・一般
民謡交流	7月24日(日) 15:00~16:30	当センター	文化交流	無料	外国人
ゆかた着付け教室	7月26日(火) 13:30~15:00	当センター	ボランティア	無料	外国人
英語スピーチと討論の会夏期特別例会	7月26日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料	会員・一般
富山大学留学生ホームビジット	7月30日(土) 10:00~17:00		ボランティア	—	—
富山まつり「おわら踊り」	8月6日(土) 17:00~21:00	城址大通り	合同	無料	会員・外国人
夏季集中日本語講座	8月22日(月) 10:30~12:00 ~27日(土) 13:30~15:00	当センター		1講座 1,800円 2講座 3,000円	外国人
A L T交流会	8月26日(金) 18:30~20:00	当センター	国際教養	日本人 1,000円 外国人 500円	会員・A L T
多国言語文化交流クラス	9月3日(土) 13:30~15:00	当センター	国際教養	200円	会 員
英語スピーチと討論の会9月例会	9月13日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料	会員・一般
ボランティア養成講座	9月未定	当センター	ボランティア	無料	会 員
ディスカバー富山	10月1日(土) 9:00~16:30	市内各所	国際教養	日本人 2,000円 外国人 1,000円	会員・外国人
英語スピーチと討論の会10月例会	10月11日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料	会員・一般
国際交流フェスティバル2005	10月22日(土) 13:00~17:00 23日(日) 10:00~16:00	CiC及び前庭	合同	—	—
スポーツ交流(卓球)	10月30日(日) 13:30~16:00	2000年体育館	文化交流	200円	会員・外国人
多国言語文化交流クラス	11月5日(土) 13:30~15:00	当センター	国際教養	200円	会 員
英語スピーチと討論の会11月例会	11月8日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料	会員・一般
茶 道	11月13日(日) 13:30~15:30	五番町公民館	文化交流	無料	外国人
料理教室	11月未定 10:30~13:30	エルフ富山	ボランティア	300円	外国人
もっと知ろう世界の街	11月未定 13:30~15:00	当センター	文化交流	無料	会 員
多国言語文化交流クラス	12月3日(土) 13:30~15:00	当センター	国際教養	200円	会 員
英語スピーチと討論の会12月例会	12月13日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料	会員・一般
富山大学留学生ホームビジット	12月未定 10:00~17:00		ボランティア	—	—
年忘れパーティ	12月未定 11:00~13:00	当センター	ボランティア	未定	会員・外国人
英語スピーチと討論の会1月例会	1月10日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料	会員・一般
新春国際交流のつどい2006	1月14日(土) 14:00~16:00	CiC多目的ホール	ボランティア	未定	会員・外国人
多国言語文化交流クラス	2月4日(土) 13:30~15:00	当センター	国際教養	200円	会 員
折り紙教室	2月未定 13:30~15:00	当センター	文化交流	未定	外国人
英語スピーチと討論の会2月例会	2月14日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料	会員・一般
料理教室	2月未定 10:30~13:30	エルフ富山	ボランティア	300円	外国人
多国言語文化交流クラス	3月4日(土) 13:30~15:00	当センター	国際教養	200円	会 員
英語スピーチと討論の会3月例会	3月14日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料	会員・一般
もっと知ろう世界の街	3月未定 13:30~15:00	当センター	文化交流	無料	会 員

国際交流フェスティバル2005

と き 10月22日(土)~23日(日)
と ころ CiCビル及び前庭(駅前広場)
内 容 ステージ公演・国際交流団体活動紹介
ブースとワークショップなど
※ボランティアスタッフ募集中!

海外研修の変更について

平成17年度海外研修は、「米国ダーラム市」の訪問を計画していましたが、バビリオンの建設が遅れていますので、平成18年度へ繰越します。
今年度の海外研修は、10月29日(土)~11月2日(水)の予定で「台湾」を訪問します。
詳細は、同封の別紙チラシにて確認の上ご参加下さい。

編集後記

当協会の5カ国語パンフレットができあがりました。
語学の全くできない者が、5カ国語で編集するという事はなんとも滑稽な話ですが、みなさんご協力をいただきながら大変な思いをして取り組みました。まだ、不安は残っています。
日本語と= (イコール) のことは無いのだということが分っていながらも、その表現のむずかしさ、ことばの役割りの大きさ、深さを思い知り、あらためて多くのことを学びました。
まず、「富山市民国際交流協会のことを知ってほしい。」そして「楽しく交流しましょう。」そんな思いが届くように願っています。
TCA-NEWSは、外国の人たちにも親しんでもらえるように本号から一部分「ルビ」をつけてみました。これからもみなさんからのご指導などをいただきながら工夫を重ねていきたいと思っております。
広報委員長 岡田昌代

会員のみなさんへ〈会費納入〉のお願い

○会 費 1口 個人 3,000円 家族 5,000円
団体・法人 10,000円
○納入方法 ①当協会窓口
②振込の場合は
北陸銀行富山市役所出張所口座 富山市民国際交流協会
普通預金 No.4076440